

研究室紹介



明星大学 理工学部
 総合理工学科 環境科学系
 准教授 櫻井達也研究室

➤研究室のこと <http://www.hino.meisei-u.ac.jp/es/staff/airs/>

櫻井研究室は2013年4月に発足し、今年で8年目を迎えることになりました。これまでに44名の学部生と5名の博士前期生が当研究室から社会に巣立っており、環境・エネルギー分野で活躍してくれている卒業生も多くおります。研究室では、私自身の学生時代の教を踏襲し、呑みニケーションを大切にしております。最近では学会年会の懇親会で卒業生に会う機会も増えてきており、とても嬉しく思っております。

研究室では、大気汚染のフィールド観測とシミュレーション解析に取り組んでおります。最近では、オゾンゾンデ観測（推進費5-1601）や船舶排出量インベントリの作成（推進費5-1802）を実施しました。また本号には、本研究室の学生が執筆した、大気アンモニアを対象とした論文が掲載されました。これまで無事に研究・教育活動を進めることができたのも、諸先輩方、並びに関係各所の皆様のご協力あってのものだと感謝しております。

➤日々の研究室（文責：博士前期課程2年 伊藤美羽）

櫻井研究室では、週に一度ゼミがあり、それぞれが研究の進捗報告を行います。その際、解析結果に関する内容から発表資料の見せ方に至るまで、ご指導いただいております。本研究室は、自主性とコミュニケーションを重んじる研究室です。研究においては個々が自発的に動かなければ、研究自体が進みません。そのうえで、研究の方向性や解析方法など、自ら櫻井先生に相談すれば、とても親身にアドバイスをくださいます。しかし、まったく相談せずにゼミでの進捗報告を行い、的外れな内容を発表してしまうと、厳しい指導を受けてしまう場合があります。

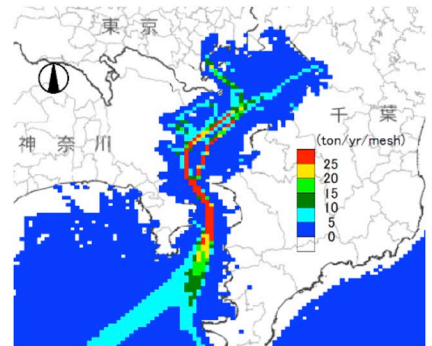
飲み会においては、櫻井先生による呑みニケーションの教えのもと、研究に関しては能動的に動けない学生も(?)積極的に飲み会に参加します。学生が飲み会を企画し、他の研究室の教授や学生とも交流する機会が多くあります。毎年行っている近接分野の研究室（亀卦川研究室）との合同ゼミ合宿では、ゼミを行った後、夕方から始めた宴は深夜まで続きます。翌日もほとんどの学生が二日酔いの中、朝からゼミ発表、昼間からBBQという名の宴を行うのが恒例です。



1976年神奈川県生まれ。1999年東京理科大学理学部物理学科卒業、2004年同校より博士（理学）を取得。酸性雨研究センター、日本エヌ・ユー・エス（株）での実務を経て、2013年より明星大学に着任。



オゾンゾンデ観測



航行船舶からのSO₂排出量推計



2019年度の研究室忘年会



2019年度のゼミ合宿 (with 亀卦川研)



第60回年会懇親会にて